

平成24年3月期 第3四半期連結決算概要

平成24年2月3日
住友化学株式会社

1. 業績

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減	平成24年3月期 (予想)	平成23年3月期	増減
売上高	14,666	14,439	△226	19,900	19,824	76
営業利益	793	583	△209	650	880	△230
経常利益	764	485	△279	540	841	△301
四半期(当期)純利益	141	△113	△255	0	244	△244
1株当たり四半期(当期)純利益	8円58銭	△6円94銭	△15円52銭	0円00銭	14円86銭	△14円86銭
自己資本四半期(当期)純利益率(ROE)	2.6%	△2.3%	△4.9%	0.0%	4.5%	△4.5%
平均為替レート(円/＄)	86.85	78.98	—	79.00 (第4四半期 77.50)	85.74	—
ナフサ価格(円/KL)	45,800	55,200	—	54,500 (第4四半期 53,000)	47,500	—

2. 部門別売上高・営業利益

(単位：億円)

		平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減	平成24年3月期 (予想)	平成23年3月期	増減
基礎化学	売上高	2,237	2,156	△81	2,900	3,023	△123
	営業利益	168	109	△60	115	206	△91
石油化学	売上高	4,778	4,916	138	6,950	6,499	451
	営業利益	100	63	△37	65	111	△46
情報電子化学	売上高	2,476	2,211	△265	3,000	3,223	△223
	営業利益	259	113	△146	115	261	△146
健康・農業 関連事業	売上高	1,791	1,908	117	2,700	2,508	192
	営業利益	163	175	12	290	233	57
医薬品	売上高	3,047	2,878	△169	3,850	4,106	△256
	営業利益	263	232	△31	220	287	△67
その他	売上高	336	370	34	500	466	34
	営業利益	17	48	31	65	41	24
全社費用等	売上高	—	—	—	—	—	—
	営業利益	△179	△157	22	△220	△260	40
合計	売上高	14,666	14,439	△226	19,900	19,824	76
	営業利益	793	583	△209	650	880	△230

※第1四半期連結会計期間からセグメントの変更を行っており、前年同四半期および前期実績値についても、比較のため組替を行っております。セグメント変更の詳細については、添付資料10ページをご参照ください。

3. 要約連結損益計算書

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増 減
売 上 高	14,666	14,439	△226
営 業 利 益	793	583	△209
持 分 法 投 資 損 益	84	△3	△88
為 替 差 損 益	△78	△59	19
そ の 他	△35	△36	△1
経 常 利 益	764	485	△279
持 分 法 投 資 損 失 (※)	△281	△278	3
事 業 構 造 改 善 費 用	△21	△29	△8
減 損 損 失	△22	△24	△1
そ の 他	0	15	15
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	439	169	△269
法 人 税 等	△155	△176	△21
少数株主損益調整前四半期純損益 (△は損失)	283	△7	△290
少 数 株 主 利 益	△142	△107	36
四 半 期 純 利 益 (△は損失)	141	△113	△255

(※) 関係会社のれん相当額一時償却

4. 要約連結貸借対照表

(単位：億円)

	平成23年3月期末 現 在	平成24年3月期 第3四半期末 現 在	増 減		平成23年3月期末 現 在	平成24年3月期 第3四半期末 現 在	増 減
(資 産 の 部)				(負 債 の 部)			
流 動 資 産	10,983	10,707	△276	支 払 手 形 及 び 金	2,280	2,278	△2
現 金 及 び 預 金	837	784	△53	有 利 子 負 債	10,403	10,526	122
受 取 手 形 及 び 金	4,138	3,750	△388	そ の 他	3,401	3,137	△264
た な 卸 資 産	3,581	3,866	284	負 債 合 計	16,084	15,940	△144
そ の 他	2,427	2,308	△119	(純 資 産 の 部)			
固 定 資 産	12,690	12,183	△507	株 主 資 本	6,039	5,727	△312
有 形 固 定 資 産	5,525	5,828	303	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額	△815	△1,132	△317
無 形 固 定 資 産	1,848	1,486	△361	少 数 株 主 持 分	2,364	2,354	△10
投 資 そ の 他 の 資 産	5,317	4,869	△448	純 資 産 合 計	7,589	6,950	△639
資 産 合 計	23,673	22,890	△783	負 債 ・ 純 資 産 合 計	23,673	22,890	△783

5. 要約連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

	平成23年3月期 第3四半期	平成24年3月期 第3四半期	増減
営業キャッシュ・フロー	1,161	1,024	△136
投資キャッシュ・フロー	△1,211	△956	254
差引(フリー・キャッシュ・フロー)	△50	68	118
財務キャッシュ・フロー	311	△25	△336
その他の	△62	△45	18
現金及び現金同等物の増減	198	△2	△200



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月3日

上場取引所 東大

上場会社名 住友化学株式会社

コード番号 4005 URL <http://www.sumitomo-chem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 十倉 雅和

問合せ先責任者 (役職名) 経理室部長 (氏名) 佐々木 啓吾

TEL 03-5543-5265

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,443,924	△1.5	58,349	△26.4	48,478	△36.5	△11,337	—
23年3月期第3四半期	1,466,554	28.3	79,266	165.7	76,352	288.6	14,135	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △40,193百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △34,196百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△6.94	—
23年3月期第3四半期	8.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,289,007	694,987	20.1
23年3月期	2,367,314	758,886	22.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 459,565百万円 23年3月期 522,473百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	6.00	9.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,990,000	0.4	65,000	△26.1	54,000	△35.8	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当する変更を行っております。

詳細は、【添付資料】P.4「2.サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	1,655,446,177 株	23年3月期	1,655,446,177 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	20,783,313 株	23年3月期	20,744,415 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	1,634,678,092 株	23年3月期3Q	1,647,418,517 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・これらの予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。なお、業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(4) セグメント情報等.....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期連結累計期間（以下、「前年同四半期」）に比べ226億円減少し、1兆4,439億円となりました。損益面では、営業利益は583億円、経常利益は485億円となり、それぞれ前年同四半期を下回りました。また、四半期純損益につきましては、経常利益の減少に加え、多額の特別損失を計上したこと等により、前年同四半期に比べ悪化し、113億円の損失となりました。

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は次のとおりです。

(基礎化学)

メタクリルや合成繊維原料は市況は上昇しましたが、震災の影響や需要の減少により出荷が減少しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ81億円減少し2,156億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ60億円減少し109億円となりました。

(石油化学)

合成樹脂や石油化学品は、震災の影響や需要の減少に加えて、国内外において大型定期修繕があったことから、出荷が減少しましたが、ナフサ等原料価格の上昇に伴う海外市況の上昇や国内販売価格の是正により、販売が増加しました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ138億円増加し4,916億円となりましたが、営業利益は前年同四半期に比べ37億円減少し63億円となりました。

(情報電子化学)

液晶ディスプレイ材料である偏光フィルムは、スマートフォンやタブレットPC用途での需要拡大や、台湾における生産能力増強により、出荷が増加しましたが、カラーフィルターの出荷は減少しました。偏光フィルム、カラーフィルターともに販売価格が下落したことに加えて、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ265億円減少し2,211億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ146億円減少し113億円となりました。

(健康・農業関連事業)

メチオニン（飼料添加物）の販売は順調に拡大しました。農薬は海外での除草剤の出荷が引き続き堅調に推移しました。円高による在外子会社の邦貨換算の影響はありましたが、売上高は前年同四半期に比べ117億円増加し1,908億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ12億円増加し175億円となりました。

(医薬品)

平成23年2月より米国にてラツーダ（非定型抗精神病薬）の販売を開始しました。アバプロ（高血圧症治療剤）やロナセン（非定型抗精神病薬）、新製品であるトレリーフ（パーキンソン病治療剤）やメトグルコ（ビッグアナイド系経口血糖降下剤）については引き続き拡販に注力したため、販売が増加しました。一方、アムロジン（高血圧症・狭心症治療剤）は後発品との競争により販売が減少し、円高による在外子会社の邦貨換算の影響もありました。この結果、売上高は前年同四半期に比べ169億円減少し2,878億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ31億円減少し232億円となりました。

(その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析等を行っております。これらの売上高は前年同四半期に比べ34億円増加し370億円となり、営業利益は前年同四半期に比べ31億円増加し48億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ783億円減少し2兆2,890億円となりました。関係会社株式のうち時価が著しく下落したものに係るのれん相当額を一時償却したこと等により投資有価証券が減少したことや、在外子会社および関連会社の換算レートが前連結会計年度末に比べ円高に進行したことが主な要因です。

負債は、前連結会計年度末に比べ144億円減少し1兆5,940億円となりました。固定負債（その他）に含まれる繰延税金負債や、流動負債の引当金が減少したことが主な要因です。なお、有利子負債（短期借入金、1年内償還予定の社債、コマーシャル・ペーパー、社債および長期借入金の合計でリース債務を除く）は前連結会計年度末に比べ122億円増加し1兆526億円となりました。

純資産（少数株主持分を含む）は、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が悪化したことや、利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ639億円減少し6,950億円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べて2.0ポイント低下し、20.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績見通しにつきましては、平成23年10月31日公表の平成24年3月期通期業績予想を下記の通り下方修正しております。

平成24年3月期の連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	2,020,000	75,000	72,000	10,000
今回修正予想	1,990,000	65,000	54,000	0
増減額	△30,000	△10,000	△18,000	△10,000

また、当期の期末配当につきましては、通期の連結業績予想を下方修正することに伴い、1株につき3円（前回予想6円）に修正させていただきます。当該修正により、年間配当予想は前期と同額の、1株につき9円となります。

詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出されたものであり、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与える主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し業績に変動を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ・ 税金費用の計算

一部の連結子会社では、税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ・ 重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、主として定額法に変更しております。

前中期経営計画（平成19年度～平成21年度）に基づき、当社が実施した大型の国内製造設備の生産能力増強等については、前連結会計年度までに本格稼働を開始しており、今後は安定的な稼働率や収益の推移が見込まれることや、海外の連結子会社は定額法が多数を占めていることなどから、定額法が当社の企業活動をより適切に反映した減価償却方法と判断できるためです。

この結果、従来の方法によった場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益は13,194百万円増加し、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ13,569百万円増加しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,746	78,398
受取手形及び売掛金	413,773	374,970
有価証券	96,074	95,248
商品及び製品	259,206	288,307
仕掛品	12,587	15,996
原材料及び貯蔵品	86,353	82,281
その他	148,437	136,593
貸倒引当金	△1,832	△1,089
流動資産合計	1,098,344	1,070,704
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	200,520	200,804
機械装置及び運搬具(純額)	200,207	213,532
その他(純額)	151,814	168,491
有形固定資産合計	552,541	582,827
無形固定資産		
のれん	79,662	70,548
その他	105,088	78,076
無形固定資産合計	184,750	148,624
投資その他の資産		
投資有価証券	401,046	354,412
その他	131,699	133,413
貸倒引当金	△1,066	△973
投資その他の資産合計	531,679	486,852
固定資産合計	1,268,970	1,218,303
資産合計	2,367,314	2,289,007

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	227,987	227,754
短期借入金	214,130	184,577
1年内償還予定の社債	20,978	25,987
コマーシャル・ペーパー	104,000	134,000
未払法人税等	15,413	15,833
引当金	51,193	38,498
その他	164,495	166,397
流動負債合計	798,196	793,046
固定負債		
社債	357,000	372,000
長期借入金	344,226	335,989
退職給付引当金	29,454	31,628
その他の引当金	10,030	9,785
その他	69,522	51,572
固定負債合計	810,232	800,974
負債合計	1,608,428	1,594,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	23,695	23,695
利益剰余金	499,287	468,103
自己株式	△8,747	△8,760
株主資本合計	603,934	572,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,918	44,370
繰延ヘッジ損益	△42	237
土地再評価差額金	3,815	4,162
為替換算調整勘定	△135,152	△161,941
その他の包括利益累計額合計	△81,461	△113,172
少数株主持分	236,413	235,422
純資産合計	758,886	694,987
負債純資産合計	2,367,314	2,289,007

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	1,466,554	1,443,924
売上原価	1,040,253	1,044,770
売上総利益	426,301	399,154
販売費及び一般管理費	347,035	340,805
営業利益	79,266	58,349
営業外収益		
受取利息	1,548	1,322
受取配当金	4,053	4,481
持分法による投資利益	8,425	—
雑収入	7,568	6,432
営業外収益合計	21,594	12,235
営業外費用		
支払利息	9,632	9,125
コマーシャル・ペーパー利息	127	168
持分法による投資損失	—	332
為替差損	7,807	5,933
雑損失	6,942	6,548
営業外費用合計	24,508	22,106
経常利益	76,352	48,478
特別利益		
有形固定資産売却益	—	1,241
投資有価証券売却益	—	247
特別利益合計	—	1,488
特別損失		
持分法による投資損失	28,147	27,801
事業構造改善費用	2,113	2,864
減損損失	2,222	2,361
特別損失合計	32,482	33,026
税金等調整前四半期純利益	43,870	16,940
法人税等	15,522	17,627
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	28,348	△687
少数株主利益	14,213	10,650
四半期純利益又は四半期純損失(△)	14,135	△11,337

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	28,348	△687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,552	△5,464
繰延ヘッジ損益	1	327
為替換算調整勘定	△39,638	△28,583
持分法適用会社に対する持分相当額	△15,355	△5,786
その他の包括利益合計	△62,544	△39,506
四半期包括利益	△34,196	△40,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△33,837	△43,048
少数株主に係る四半期包括利益	△359	2,855

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はない。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	215,641	491,576	221,061	190,819	287,827	1,406,924	37,000	—	1,443,924
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,667	5,674	3,421	3,910	5	24,677	42,874	△67,551	—
計	227,308	497,250	224,482	194,729	287,832	1,431,601	79,874	△67,551	1,443,924
セグメント利益	10,873	6,284	11,332	17,479	23,243	69,211	4,807	△15,669	58,349

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益の調整額△15,669百万円には、セグメント間取引消去116百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△15,785百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントの変更

第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分方法を以下のように変更している。

- ・「精密化学」を廃止し、同セグメントに含まれていた機能性材料、添加剤、染料等を「基礎化学」に移管した。また、同セグメントに含まれていた医薬化学品等を「農業化学」に移管し、これに伴い「農業化学」を「健康・農業関連事業」に改称した。
- ・「医薬品」に帰属する連結子会社の、「その他」に含まれていた事業を「医薬品」に変更した。

なお、前第3四半期連結累計期間について、変更後の区分方法により作成した報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、次のとおりである。

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	基礎化学	石油化学	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上高									
外部顧客への 売上高	223,739	477,816	247,590	179,081	304,705	1,432,931	33,623	—	1,466,554
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	11,125	7,096	4,169	4,034	5	26,429	37,134	△63,563	—
計	234,864	484,912	251,759	183,115	304,710	1,459,360	70,757	△63,563	1,466,554
セグメント利益	16,849	9,996	25,930	16,313	26,321	95,409	1,730	△17,873	79,266

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでいる。
- 2 セグメント利益の調整額△17,873百万円には、セグメント間取引消去△248百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△17,625百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等である。
- 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

医薬品セグメントにおいて、将来の収益性がないと判断した特許権について回収可能性を評価し、2,361百万円を減損損失に計上している。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はない。